



税の話



名古屋税理士会 名古屋東支部

〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目15-30名古屋リザンビル内三菱東京UFJ銀行東支店3階
TEL (052) 935-5439 FAX (052) 935-6329

N a g o y a C e r t i f i e d P u b l i c T a x A c c o u n t a n t s ' A s s o c i a t i o n N a g o y a - E a s t B r a n c h

ごあいさつ



名古屋税理士会名古屋東支部
支部長 寺澤 克佳

名古屋税理士会名古屋東支部創立50周年を迎え、ここに記念号を発刊するにあたり、記念誌委員会をはじめ支部会員の皆様のご協力やご理解をいただき、さらに協賛企業の方々には絶大なるご支援を賜りましたことに感謝し、心より厚く御礼申し上げます。

さて当支部は、昭和32年10月、名古屋税理士会名古屋東支部として第一歩を踏み出しました。そして今年、支部の歴史の節目として、会員総意のもと、支部創立50周年記念事業を実施することにより、我々支部会員の飛躍の契機としたいと考えています。

昨今、税理士法改正、商法改正等による業界、また時代の流れとも言うべき規制緩和により揺らぐ強制入会制度・無償独占の堅持が問題とされ、さらに電子申告の普及拡大、国税庁によるアウトソーシング事業への対応等、我々税理士業界を取り巻く環境は激変しており、我々に対する時代の要請も大きく変わりつつあります。そこで、我々としては、一度じっくり足元を見つめ直し、時代の要請にこたえるため、税務の専門家としての支部のあり方を考え、地域社会に存在を示す必要があると考えます。

毎年行っている無料税務相談会や租税教室の継続性や必要性はもちろんのこと、支部広報誌の配布等もたいへん重要だと考えます。そして、今回創立50周年記念事業の一環として、将来を担う子供たちに対して税金の大切さを説く「租税教室」を小・中・高校で開催しました。税金の役割や仕組みをわかりやすく解説し、税金がどのように活用されているか、どれほど身近なものかを理解してもらう授業を行いましたが、これも税の専門家として私たちにしかできない意義のあることだと思い、これからも続けていくこうと計画しています。

今後も、時代の要請に応える納税者の良き相談者であることを自覚し、益々の研鑽を重ね、飛躍・発展していくことによって、税理士としての誇りを持ち、日々前進していくたいと思っています。

最後に、東区民の皆様方のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

ごあいさつ



50周年記念事業実行委員長
真田 新之助

昭和32年に創立した名古屋東支部も、ここに半世紀の歴史を重ねることが出来ました。この50年の間には、先ず北税務署管内の先生方が、昭和39年に北支部として独立され、その後千種地区の先生方が、昭和43年に千種支部として独立され、今はいわゆる二人の子供支部の方が、親支部を越える人数を誇っておられることは、ご同慶の至りに存じます。

創立時の46名の会員は、現在も2名が在籍されており、その後追々会員も増え始めましたが、私が支部長を務めました昭和54年～56年頃は、103名の支部会員であったものが今では220名を擁する規模に成長してまいりました。これも支部会員の先生方の努力の賜であると心より感謝申し上げます。

ここに、実行委員長として三つのことを申し上げ、ご挨拶にしたいと思います。

先ず、第一は、我々税理士の使命と社会的認識についてであります。我々は、税務行政の円滑な運営における、当局と納税者との間の潤滑油の立場として、なくてはならぬ存在として自覚し、社会的にその存在の大きさと貴重さを認識しております。今後も顧問先企業の適正、正確な申告を行い、税務行政の円滑な運営を推進してまいる所存であります。また、この潤滑油が枯渇したり、切れたりすることは絶対許されないことですので、絶えず改正される税法の研修に努力を惜しまず、両者の付託に応えて行く覚悟であるということを申し上げます。

二番目は、名古屋東支部は非常に結束の堅い支部であると云うことです。東税務連絡協議会は、我が支部を含め六つの税務協力団体が、東署管内の税務行政推進に常に意見を統一して事業を行っております。また、全管内が青色申告の町、振替納税推進の町の宣言をしております。これは全国的にも極めて希なことであり、その中心となって事業を行っている我が東支部も、非常によくまとまり、揺るぎない団結を保っていることで、私は43年在籍している者として東支部を誇りに思います。

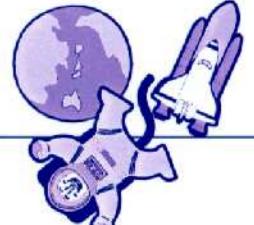
三番目は、東支部会員の諸先生方の活躍の素晴らしさです。恒例の確申期における無料税務相談は、毎年評判が良く、税務行政のお手伝いとして、大きな評価を得ております。また、先頃東区民を対象とした機関紙の発行や、区内の小、中、高等学校へ税金についての出前授業を行ったところ、非常に評判がよく、今後も続けて行うことを計画しております。さらには、この50周年記念行事の一環として愛知大学の教室にて税金教室や無料相談を開催します。

このように地域に密着した行事を推し進めて行く姿を見て、私は東支部の将来も安泰であると確信しております。

最後に、東支部創立50周年事業にご協力をいただきました東区の企業の皆様には衷心よりお礼申し上げ、今後のご繁栄を心より祈念し50周年記念のご挨拶と致します。



年度	名古屋東支部・名古屋税理士会のあゆみ		社会事象	
	年	月		
昭和31年 (1956)	6月	30日	税理士法一部改正公布 税理士会は特別法人と規定される。税理士の税理士会への間接的強制加入、特別試験の制度化	神武景気 日ソ国交回復 気象庁が発足
	10月		名古屋税理士会（以下、本会という）設立総会開催（名古屋商工会議所） (本会所在地) 名古屋市中区七間町4丁目20番地 当部会 箕輪吉人会員が本会副会長就任（1期目）	
昭和32年 (1957)	10月	1日	本会々報「名古屋税理士会報」創刊 東部会創立総会開催	日本が国連に加盟
	10月	10日	「東税理士会報」創刊	南極探検隊が昭和基地設立
	3月		名古屋東税務署 現所在地（名古屋市東区主税町三丁目18番地）に新庁舎が落成し、昭和17年9月よりあった庁舎（名古屋市東区白壁町4-22）より移転	ソ連が初の人工衛星打ち上げ成功
	31日		現在支部会員47名	主婦の店ダイエーが大阪で開店
昭和34年 (1959)	5月	6日	本会臨時総会にて会則を変更して從来の部会を支部に昇格 岐阜県、東、中、西、昭和、熱田中川の6支部を設置	岩戸景気 皇太子ご結婚 伊勢湾台風 プロ野球初の天覧試合
	6月	19日秋	全国統一会員証（バッヂ）作成 9月26日の伊勢湾台風は、有史以来稀にみる台風で被害も甚大であった。本会は、会員より義援金募り、被災会員にそれぞれ贈る処置をとった。本会は名古屋国税局長や中部日本災害対策本部長に「伊勢湾台風の災害要望事項」として所得税、法人税等の減免を陳情	 昭和34年 国税の還付減免税等相談所
昭和36年 (1961)	7月	12日	税理士法発布10周年を記念し、中部日本放送のテレビを通じ、ニセ税理士排除を目的とした税理士PRの放送を行った	ソ連が世界初の有人宇宙船 第二室戸台風
昭和38年 (1963)	9月		名古屋東税務連絡協議会結成（名古屋東青色申告会、名古屋東法人会、名古屋東納税貯蓄組合連合会、名古屋税理士会東支部をもって組織）	ケネディ大統領暗殺 吉原ちゃん誘拐事件 日本初の長編アニメ鉄腕アトム
	12月	9日	各区役所、税理士会館における無料税務相談が始まる 税理士会が定期的（毎週第2、4火曜日）に無料相談所を	

年度	名古屋東支部・名古屋税理士会のあゆみ		社会事象
3月	23日	開くのは、全国初。当支部担当の区役所は、東、北、守山区役所 日税連は、「全共連ビル」内に同法案阻止のため国会対策の作戦本部を設置、当支部会員も全力をあげてこの運動に参加し、国会陳情のため多数の会員が上京した。39年6月26日、全国会員の運動の甲斐があり、ついにこの法案は継続審議となり、一応法案成立を阻止したことは特筆すべきものである	
昭和39年 (1964)	7月	1日 名古屋北税務署と名古屋中村税務署の新設に伴い、本会の支部編成替えに関する臨時規定に基づき、従来の支部のうち、名古屋東、名古屋西、昭和、熱田中川の4支部は6月30日をもって解散した 当支部より名古屋北支部が分離独立し、その他名古屋中村、名古屋西、昭和、熱田、中川の7支部が発足、名古屋市内では、既存の支部と合わせ9支部となった	東京オリンピックが開催 東海道新幹線が開通 新潟で大地震
昭和40年 (1965)	7月	21日～8月11日 日税連、ヨーロッパ各国の租税制度調査及び職業会計人との国際的親善の視察団派遣（初めての試み）	ベトナム戦争が勃発 夕張炭坑でガス爆発 朝永博士がノーベル物理学賞
昭和41年 (1966)	10月	名古屋東青年税理士部会設立総会開催	いざなぎ景気
	2月	3日 名古屋青年税理士連盟創立	全日空機が東京湾に墜落 ビートルズが来日
昭和42年 (1967)	10月	19日 日税連、税理士制度25周年記念式典挙行（プリンスホテル）	欧州共同体（EC）成立 ASEAN結成 阪急が磁気券式自動改札機第一号を設置
昭和43年 (1968)	6月	1日 本会、名古屋東支部より千種支部が分離独立。 また、岐阜県支部を廃止して、新たに岐阜北、岐阜南、大垣、関、多治見、中津川及び高山支部が設けられる	三億円事件
	11月	1日 本会、「税理士総奉仕の日」実施。全会員の税理士事務所、銀行3店舗において無料相談に応じ、所得税等125件の相談があった	東大安田講堂占拠事件 川端康成がノーベル文学賞受賞 郵便番号制度実施
昭和44年 (1969)	6月	1日 現在支部会員71名、準会員2名	東名高速道路全通
	8月	23日 日税連理事会において、毎年2月23日を「税理士記念日」と定められる	米国アポロ11号月面初着陸
	11月	11日 本会、税政連名古屋地連共催による商法改正（株式会社の監査制度改革）反対決起大会開催（名古屋商工会議所）	日本のGNPが西側諸国で第二位に
	12月	5日 東京九段会館において「商法改正断固粉碎」全国決起大会を開催し、大デモ行進を行い国会議員に陳情した。当支部会員も多数これに参加した。	プロ野球八百長問題
昭和47年 (1972)	9月	22日 本会、税理士制度30周年記念式典挙行（名古屋市公会堂）	
	10月	税理士登録番号3万台に達する	名古屋国税局と名古屋、東海税理士会が確認書添付制度を2年間全管試行
	1月	16日 名古屋国税局と名古屋、東海税理士会が確認書添付制度を2年間全管試行	商法改正案自民党法務部会で検討
	1月		

年度	名古屋東支部・名古屋税理士会のあゆみ	社会事象	年度	名古屋東支部・名古屋税理士会のあゆみ	社会事象
昭和48年 (1973)	11月 8日 東海銀行赤塚支店にて東税務経営指導所開設式典挙行、祝賀パーティー開催 1月 16日 本会で初の税務経営指導所長会議を開催	ベトナム平和協定 米ドル1割切下げで円変動相場制へ 韓国駐日大使・金大中氏強制連行 オイルショック、買い占めパニック		所在地 名古屋市千種区覚王山通8丁目14番地 13日 名税政名古屋東支部の創立大会開催 2月 21~22日 税理士記念日行事の一環として、「主婦のための税金教室」から広く女性一般に窓口を広げ、「女性のための税金教室」を名古屋会場(税理士会ビル)と岐阜会場(岐阜商工会議所)で開催	横綱千代の富士、引退 雲仙・普賢岳で火碎流、40人死亡 世界陸上マラソンで谷口が日本人初の金
昭和51年 (1976)	11月 5日 法務省令で戸籍、除籍の謄抄本の交付請求有資格者に税理士が指定される 3月 10日 「公共団体に対する税理士派遣に関する規則」制定 31日 現在正会員88名、準会員2名	ロッキード疑惑事件 (※政情混迷、経済不況深刻化) 田中元首相逮捕 河野洋平氏ら新自由クラブを創設 米バイキング1号火星着陸成功 モントリオール・オリンピック始まる	平成4年 (1992)	9月 20日 税理士制度50周年記念事業の一環としてステージカー「タックス大使号」による全国縦断キャラバン隊が名古屋会場(名古屋栄セントラルパーク・テレビ塔下広場)に到着、イベント開催 3月 31日 現在正会員148名、準会員14名	ブッシュ米大統領夫妻来日 ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争 月例経済報告で政府が景気後退宣言 PKO協力法成立、自衛隊がカンボジアへ
昭和52年 (1977)	1月 23日 税理士記念日行事の一環として、「主婦のための税金教室」を初めて開催(中日文化センター会議室) 3月 31日 現在正会員95名、準会員3名	巨人・王選手756号ホームラン世界新記録 日本赤軍ダッカで日航機ハイジャック	平成6年 (1994)	3月 2日 支部会員の協力により、「阪神・淡路大震災」の被災者に対して、社会福祉法人中日新聞社会事業団に義援金50万円を寄託 31日 現在正会員164名、準会員14名	コメ不足で価格高騰 中華航空エアバス機、名古屋空港で着陸失敗264人死亡
昭和54年 (1979)	10月 30日 名古屋税理士会附属税経学院創立10周年記念式典挙行(名古屋通信会館) 11月 29日 税理士法改正法案、臨時国会に上程 12~13日 当支部、「税を知る週間」ユニバーサル本店での無料税務相談を初めて開催	国公立大学、初の共通一次試験実施 英国でサッチャー政権誕生 ソ連軍アフガニスタンに進行	平成12年 (2000)	9月 14日 9月11日~12日の東海豪雨により、本会の40名以上の会員が床上浸水以上の被害に遭い、本会、災害対策本部を設置 18日 本会、名古屋国税局宛に被災者に対する災害減免法、雑損控除など税負担減免、申告・納付期限尾延長など税務署の対応について緊急要望書を提出した 10月 7~8日 本会、東海豪雨被災者向け無料税務相談を開催(西枇杷島役場)	三宅島噴火で島民避難 有珠山噴火 雪印の食中毒事件発覚 そごう倒産 イチローが日本人野手の大リーガー
昭和56年 (1981)	5月 15日 商法及び監査特例法の改正法案成立 この改正で監査強制会社は資本金基準について10億円から5億円に引き下げられた	米国、スペースシャトル打ち上げ成功 神戸ポートピア開催(9月15日まで)	平成13年 (2001)	10月 29日 ドイツ・ミュンヘン税理士会と友好協定締結の調印式挙行	米国で同時多発テロ
昭和59年 (1984)	2月 税理士記念日行事の一環として、岐阜会場においても「主婦のための税金教室」を初めて開催	東証ダウ初の1万円台に乗る グリコ・森永脅迫事件	平成14年 (2002)	5月 22日 「商法等を一部改正する法律」が成立し、現物出資、財産引受及び事後設立の目的たる財産の価格の証明を税理士及び税理士法人ができることとなった	日朝首脳会談 サッカーW杯を日韓共催
昭和63年 (1988)	12月 1~2日 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)第2ファッション展示場で、本会が日税連、東海税理士会及び名税協の共催を得て、「近未来の税理士事務所の姿」をテーマに、「ニューメディアとデータバンクショー」を開催。当地名古屋地区では初めて開催。	青函トンネル開業 瀬戸大橋(児島→坂出ルート開通) イラン・イラク戦争8年ぶりに停戦 ソウル五輪開幕 3億円事件、時効成立	平成15年 (2003)	1月 平成16年2月から、名古屋国税局管内において所得税および消費税(個人のみ)の電子申告の運用が始まり、同年3月から同じく名古屋国税局管内において法人税、消費税(法人)申告、納税・申請・届出についても運用が開始されることに伴い、日税連電子認証局が申請者に対し電子証明書の入ったICカードの発行を始める	イラク戦争勃発でバグダッドが陥落
平成元年 (1989)	10月 13日 支部会員107名の参加を得て、名古屋税理士会東納税貯蓄組合を設立 2月 21日 税理士記念行事の一環として、「税理士の社会的役割とあるべき姿」をテーマに「有識者のご意見をお聞きする会」を開催(ホテルキャッスルプラザ)。この日の模様を小冊子にまとめ、会員に配布 3月 31日 現在正会員147名、準会員17名	昭和天皇崩御 大喪の礼が新宿御苑で行われる 消費税3%スタート バブル経済 ベルリンの壁崩壊	平成16年 (2004)	9月 ~10月 平成17年分申告より消費税の課税事業者の基準が、課税標準額3,000万円から1,000万円に引き下げられたことに伴い、消費税の課税事業者が大幅に増加することが見込まれるため、個人事業者を対象に支部独自に「改正消費税セミナー」を実施(計4回) 3月 31日 現在正会員210名、準会員8名(支部会員には法人会員5名を含む)	イラクへ自衛隊派遣(59年振りに戦地へ) イラクで日本人が人質に 新潟県中越地震で被害
平成3年 (1991)	8月 27日 台湾省税務会計記帳代理業職業工會聯合會理事長一行が本会を訪問 12月 12日 本会、税理士会ビル落成祝賀式典及び披露パーティーを挙行(税理士会ビル)	湾岸戦争勃発 東京都庁、新宿に移転 ソ連崩壊 ゴルバチョフ大統領来日	平成17年	10月 18~19日 支部所属税理士による個別無料税務相談会開催の周知及	小泉首相が衆院を解散・総選挙、

座談会「歴史文化の町東区」

特別ゲスト NHK名古屋放送局 広報部長 細野敏郎さん
エグゼクティブアナウンサー 石澤典夫さん



平成19年10月23日、名古屋市東区の愛知芸術文化センター アートスペース催事室にて、名古屋税理士会名古屋東支部の創立50周年を東区民の皆様に広く知っていただく目的で、東区内に事業所があるNHK名古屋放送局の協力を得て、対談形式による座談会を催しました。参加者は、NHK名古屋放送局から広報部長の細野敏郎さん、“地域密着”番組「金とく」おなじみのエグゼクティブアナウンサー石

澤典夫さん、名古屋税理士会名古屋東支部から元支部長の糟谷喜彦先生、現支部長の寺澤克佳先生、青年部部長の河村裕明先生、司会は当支部50周年記念事業広報委員長の菱田裕之先生にて進行しました。

平成20年は「東区区制100周年」を迎えることもあり、特色ある東区の歴史文化を対談内容にしました。区民の方々に、東区をより知っていただくことができれば我々東区に事務所を置く税理士の活動にもご理解いただけるものと考えています。

NHK名古屋放送局は80年の歴史

広報部長の細野でございます。平成18年の6月に名古屋に赴きました。前任は東京の報道局で「おはよう日本」のプロデューサーをしておりました。NHK名古屋放送局は愛知万博が開催された平成17年に開局80周年を迎えました。名古屋放送局は、地元財界人の有志の皆さんが出資し、放送事業会社を作り、大正14年7月15日にラジオ放送を開始しました。

名古屋放送局の初代の理事長（神野金之助）は地元財界の方でした。当時の放送時間は4時間半ほど、聴取料は月額2円、加入者は3291件でした。その後大正15年名古屋放送局廃止、日本放送協会名古屋中央放送局となり、聴取料は月額1円となりました。昭和30年7月にNHK名古屋放送局は名古屋放送会館CKホールが竣工、落成されました。今のオアシス21のところです。



NHK名古屋放送局
広報部長 細野敏郎さん



平成19年11月 掲示板新設

1月 ~2月 租税教室開催（20年1月9日愛知商業高校、1月16日山吹小学校・旭丘小学校、1月17日砂田橋小学校、2月1日葵小学校、2月5日愛教大付属小学校）

年度 (2005)	名古屋東支部・名古屋税理士会のあゆみ び税理士の存在意義をアピールするため、広報車で東区内の主要個所をくまなくまわり、街宣活動を行う 事前予約制区民個別無料税務相談開催（山吹コミュニティセンター、東白壁コミュニティセンター、名古屋東スポーツセンター） 支部広報誌「翼」創刊。2万部を東区民に個別配布した
--------------	--

平成18年 (2006)	10月 15日 東区民祭り「なごやかまつり・ひがし」に青年部が初出展（青年部創立40周年記念行事） 1月 ~2月 租税教室開催（19年1月17日 愛知県立愛知商業高等学校、1月23日 名古屋市立旭丘小学校、2月7日 ダイキン工業（株）名古屋支店）
-----------------	--

平成19年 (2007)	10月 2日 当支部創立50周年記念式典、講演会、懇親パーティ開催（メルパルクNAGOYA） 14日 当支部創立50周年記念行事として東区民祭り「なごやかまつり・ひがし」出展 11月 17日 税理士による無料税務相談会開催（東白壁コミュニティセンター、明倫コミュニティセンター） 18日 当支部50周年記念「くらしと税金」講演、税理士による無料税務相談会開催（愛知大学 車道キャンパス・3Fコンベンションホール） 11月 名古屋東税務署玄関横に支部会員ネームプレートの掲示板を新設
-----------------	--



平成19年11月 掲示板新設

1月 ~2月 租税教室開催（20年1月9日愛知商業高校、1月16日山吹小学校・旭丘小学校、1月17日砂田橋小学校、2月1日葵小学校、2月5日愛教大付属小学校）



エグゼクティブアナウンサー
石澤典夫さん

私は昭和51年にNHKに入局しまして、鳥取、山形、東京、札幌、東京、そして平成17年1月に名古屋へとやってまいりました。名古屋局は東海北陸7県を統括する局です、この名古屋局で新しいNHKに取組み、東海北陸の皆様へ情報を発信する番組「金とく」を担当しています。



名古屋税理士会
名古屋東支部
現支部長 寺澤克佳先生

私が子供の頃の昭和30年代には、矢田、大幸にまだ田んぼや畠がいっぱいありました。多くの子供たちが田んぼや畠で遊んでいました。そのころの公共交通機関は市電が矢田10丁目から大久手まで走っている程度でした。今なら東区から八事あたりまでなら車で15分か20分ぐらいで行けますが、私の子供の頃は遠足で一日がかりで行く様なところでした。

資料

旧名古屋放送局舎は現在の丸の内中学校(中区)の場所にあったそうです。昭和8年にはラジオ第2放送が開始され、昭和11年日本で初めてプロ野球の実況中継(巨人軍対金鯱軍)を名古屋鳴海球場から放送しています。

昭和20年には戦災により名古屋放送局は消失してしまいます。

昭和25年には放送法による「日本放送協会」が発足します。

テレビ放送が開始されたのが昭和29年で、この年名古屋テレビ塔が完成しています。
現在のNHK放送センタービルは平成3年8月に竣工しました。

この間、FM放送の開始、音声多重放送の開始、文字多重放送の開始、地上デジタル放送の開始と歴史をたどります。

資料

慶長19年(1614)名古屋城築城、当尾張藩主は徳川家康の九男義直、により城下町が形成されました。城の東側に家老(成瀬、竹腰、渡辺)の邸宅(本邸、中屋敷、下屋敷、別荘)が並び、泉、白壁、主税町、撞木町一帯に700坪程度の武家屋敷、建中寺より東には100坪程度の下級藩士の屋敷がつづき城を防衛します。

徳川御三家の筆頭として大政奉還に至るまで商業、芸能文化の繁栄が続きますが、明治4年廃藩置県、明治41年4月東区制実施、明治、大正、昭和をとおし商工業地域として発展しました。

しかし、昭和20年の戦災により焼け野原になってしまいます。戦後の復興事業で、街道筋にあった多くの寺院の墓地を平和公園に集積し区画整理を行いました。戦後、東区に文化芸術等の会館が多く設置されているのは、歴史的に広い区画の土地が在ったことが要因です。

明治41年東区誕生

司会者: ありがとうございました、それでは東区の歴史についてお話を聞きますか。

名古屋は江戸時代尾張藩でした。その後名古屋藩、名古屋藩を名古屋県、名古屋県を愛知県へと改称してきました。名古屋市については愛知県へと改称したと同時に愛知県第一大区となりその後名古屋区、名古屋区が名古屋市となりました。

東区は明治41年に、東区、西区、中区、南区の名古屋市4区制の中の1区として設置されました。東門前町西蓮寺内に区役所を置き、初代区長は榎戸利吉氏です。明治42年に布池町に区役所を新築しました。昭和12年には名古屋市を10区制に増区、東区の一部を千種区に分割、昭和19年名古屋市13区制実施に伴い東区の北部を北区に分割、昭和20年栄区廃止、一部を東区に編入しました。現在の区役所庁舎(筒井一丁目)は昭和45年に新築されたものです。

東区の人口推移は、国勢調査によれば昭和10年の268,200人をピークに平成12年では65,791人まで減少しましたが、最近ではマンションがあちらこちらにでき始め、人口が増加しつつあるようです。



名古屋税理士会
名古屋東支部
元支部長 糟谷喜彦先生

商工業、物流、教育、文化地区に生まれ変わった東区

司会者: ところで東区はいろいろな要素が多く含まれている町ですが、現在の東区を河村先生お話を聞きますか。



名古屋税理士会
名古屋東支部
青年部部長 河村裕明先生

交通網は東区内に主要幹線道路が縦横に走り、鉄道は地下鉄東山線、桜道線、名城線、JR東海(中央線)、名鉄瀬戸線が、またバスは全国唯一の中央走行方式の基幹バスおよびガイドウェーバスなど交通機関には恵まれた町です。

東区の特徴は区域の西南部には、桜通、錦通を中心に都心商業ビジネス地区、中央部は、おおむね閑静な住宅地区、東北部は多数の教育施設、郊外型大型ショッピング施設もできています。また、大幸南のナゴヤドームではプロ野球や各種イベントが開催され、新しい名古屋の名所になっています。東区が教育地域として特徴的なことは、9学区に国立の小学校を含め10

校の小学校がありますが、これは市内16区のうち熱田区について2番目に少ないにもかかわらず、高校の数は私立を含め8校あり、これは千種区の9校について2番目に多く、

昼間の人口は少子高齢化を感じさせません。また、工業地域としての歴史もあり、日本を代表する三菱重工、三菱電機という大企業があります。宇宙ロケットの開発も行われています。東区は地理上、瀬戸、美濃からの街道の接点であり瀬戸焼、美濃焼といった陶磁器の貿易商社が以前は多くあったそうです。日本陶器、オークマといった大企業も元は東区から発展していったそうです。

それから、東区の特色の一つとして往時は名古屋城を中心とした武家屋敷があり、お城の東側に家老の邸宅が並んでいました、現在の泉、白壁、主税町、撞木町一帯です、尾張藩にまつわる旧跡、尾張徳川家の菩提寺である建中寺をはじめ徳川家に繋がる寺院や由緒ある神社・仏閣が多いことです。

古い町名はそこがどの様な特色、由来のあるところか解ることが多いですね。



エグゼクティブアナウンサー
石澤典夫さん



名古屋税理士会
名古屋東支部 元支部長
糟谷喜彦先生

そうですね、東区の町名は現在でも昔のままの町名が使われているところがあります。例えば徳川町、主税町、撞木町などです。しかし戦後名古屋市は区画整理をすぐに開始し、旧町名の多くが変更されました。この区画整理は、土地所有者より20%の土地を提供してもらい多くの道路や公園の整備を行いました。

資料

昭和56年名古屋市では新住居表示が実施されましたが、東区では従前の町名が4地区に別れ文化の町として残されています。

- ① 町並み保存地区…主税町、撞木町、飯田町、東外堀町など
- ② 徳川園を中心とした地区…徳川町、明倫町、山口町、赤塚町など
- ③ 建中寺東地区…百人町、黒門町、車道町、豊前町など
- ④ 中区との接点地域…久屋町、東新町、武平町、西新町など。



東区には100ヶ所以上の寺院、神社、教会がある

資料

徳興山建中寺(東区筒井一丁目)は慶安4年(1651)尾張藩主徳川光友が父義直の菩提を弔い、境内約5万坪の敷地に建立しました。本尊阿弥陀如来は鳥仏師の作といわれていて、本堂は天命7年(1787)に再建され、現在名古屋市内木造本堂では最大のものです。

宝亀山相応寺(東区山口町)は寛永20年徳川義直が母お亀の方の菩提を弔うため1万2千坪の敷地に建立したもので爾来、尾張徳川家の夫人、子女が葬られました。

昭和9年に千種区城山町に移転しました。徳川園(東区徳川町)は尾張藩二代目藩主光友が隠居所である大曾根屋敷を造営したことが起源とされ、当時の敷地は13万坪あったとされています。

その後、尾張藩家老職の成瀬、石河、渡邊三家に譲られ、明治22年からは尾張徳川家の邸宅となり、昭和6年19代当主徳川義親氏が名古屋市に寄贈しました。現在の徳川園は平成16年に改修され徳川美術館が併設されています。

天王祭り

資料

東区出来町、筒井町では名古屋の夏祭りの先陣を切って毎年6月第一土曜、日曜日にそれぞれの地区の須佐之男神社(天王社)の祭礼が行われています。

新出来町(鹿子神車)、出来町(河水車)、古出来町(王義之車)、筒井町(神皇車、湯取車)が5台の山車を持ち奉曳きされ、からくりの奉納があります。

それぞれの山車の歴史は古く、鹿子神車は宝暦12年(1761)に住吉町(中区)で建造されたものを譲り受けたものとされ、河水車は延宝2年(1674)に住吉町で建造されたものを譲り受けたもの、王義之車は寛保年間(1740頃)に建造された若宮八幡社の祭車を譲り受けたものとそれぞれ伝えられていますが、現在のものは昭和23年頃に戦災で消失した後に再建されました。

神皇車は文政7年(1824)に建造され三之丸天王祭で使われたものを昭和28年に改造しており、湯取車は万治元年(1658)に東照宮の祭礼車として桑名町で建造されたものを譲り受けたとされています。湯取車は名古屋市内現存の山車の中では最も古い歴史があるとされています。



名古屋税理士会名古屋東支部の歴史

司会者：それでは名古屋税理士会名古屋東支部の歴史について話していただけますか。



名古屋税理士会
名古屋東支部 元支部長
糟谷喜彦先生

昭和17年税務代理士法が制定され名古屋税務代理士会が発足して、その後昭和21年税理士法が制定されると社団法人名古屋税理士会に変更になります。昭和31年社団法人名古屋税理士会は解散し、同時に現在の名古屋税理士会となりました。通常、国税局1箇所に1つの税理士会なのですが、名古屋国税局には名古屋税理士会と東海税理士会があります。

名古屋国税局は管轄地域が広く、愛知、岐阜、三重、静岡と4県にまたがっています。名古屋税理士会は名古屋市内税務署、知多半島の半田税務署、岐阜県内税務署の範囲で所掌し、残りは東海税理士会です。

名古屋東支部は昭和31年に発足しました。その後東支部は、北支部、千種支部へと分かれました、その当時の東支部の会員数は40名に満たない支部となりましたが、現在は会員数も増え、個人会員224名、法人会員10社となっています。

また、昭和48年には東支部税務相談所も開設され、一般納税者の記帳支援等も行っています。



名古屋税理士会
名古屋東支部 現支部長
寺澤克佳先生

チャレンジするNHK

司会者：それでは最後にNHKのPRをお願いします。



エグゼクティブアナウンサー
石澤典夫さん

NHKは現在視聴者第一主義で、御覧頂いている皆さんにここで背中を向けられたら後はないという覚悟で番組制作を行っています。ここ10年は特に、番組制作についても皆様からの厳しい声を感じています。ただ一方で応援してくださる視聴者の皆さん、「見ているのだからちゃんとやれよ、いいもの出していくれば応援するから」との声も頂いています。そのところをきちんと受け止めて、個別具体的な内容の番組を制作していきたいと思っております。10年前のNHKであれば絶対に通らないような提案がどんどん通るようになって来ていますし、中身のしっかりとした番組、プレゼンテーションをどうするか、そこでどんどん知恵を出して現場は番組を制作しています。

例えば私が現在担当している「金とく」という番組も、従来のNHKの縦割りの中では実現しなかった様な番組も随分出来ておりますし、作り方も構成メンバーも変えて、チャレンジしてやっていこうと1年半やってきた手ごたえも感じております。

もうひとつは「NHKの放送はどのようなスタンスなの」と聞かれます。NHKは何時も中立な立場で放送を行っています。世の中をミスリードするようなスタンスだけは取るまい、「事実は何なのか、今伝えることは何なのか、伝えてはいけないことは何なのか」といった道を誤らないようにやって行く事、それが今のNHKのスタンスです。

崖っぷちで後がないというつもりで頑張っておりますのでよろしくお願いします。



司会者：本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

NHK名古屋放送局では現在「ありがとうキャンペーン」「交通事故撲滅キャンペーン」を行っています。あの時言えなかった「ありがとう」を今、心から伝えるやさしさと、人の命やその家族の幸せを奪い取る交通事故を起こさない心構えを持つことを皆さんにうたっています。東区民の皆さん、最近のNHKの番組って変わってきてると思いませんか。

また、東区は明治41年4月に区制が施行された年に誕生し、平成20年4月に100周年を迎えることになります。この大きな節目にあたり「東区制100周年記念事業実行委員会」を中心に平成20年4月26日名古屋芸術創造センターでの記念式典をはじめ、数々のイベントが実施されます。東区の皆さん御参加よろしくお願いします。



支部創立50周年特別記念 支部活動

- ・「暮らしと税金」講座
- ・税務相談会
- ・租税教室

無料税務相談会

日時：平成19年11月17日（土） 午前10時00分～午後4時00分
 場所：東白壁コミュニティセンター
 明倫コミュニティセンター
 内容：無料税務相談会 担当：武藤巖・鈴村明己・吉原希人・安藤賢史・
 竹本隆志・倉田崇史



「暮らしと税金」講座 & 無料税務相談会

伊藤典夫・記

日時：平成19年11月18日（日） 午後1時30分～4時00分
 場所：愛知大学車道キャンパス コンベンションホール
 内容：講座「暮らしと税金」講師・竹本守邦 司会・伊藤典夫
 税務相談会 担当：三宅妙子・竹本守邦・種岡幹人・林紀代治



司会・伊藤典夫先生

創立50周年記念「無料税務相談会」「暮らしと税金講座」を終えて

記念事業・税金講座委員会のメインイベントである「無料税務相談会」と「暮らしと税金講座」を平成19年11月17日18日の両日開催しました。これに先んずる11月5日6日の両日、若手会員を動員し、街宣車を立てて、東区内をくまなく街宣とビラ配りをしました。

人の集まりそうな地下鉄入口（栄・新栄・千種・大曽根など）で車を止めて、2つのイベントの開催を区民の皆様にうたえました。ビラ配りが結構大変で、なかなか受け取ってもらえず、たまに話を聞いて下さったりビラを読んでいただと大変うれしく感じたのも良い経験でした。

「これからは、街でビラ配りの人には会ったら、受け取るようにします」と、若い仲間が言った事が印象的でした。

無料税務相談会は、今年は東白壁と明倫の2ヶ所のコミセンで、事前予約がない状態でスタートしました。両会場には、経験豊かな税理士が3名ずつ待機しました。東白壁コミセン会



講師・竹本守邦先生



翌日11月18日は、メイン行事の「暮らしと税金講座」で、第一部竹本守邦会員による講演と、第二部個別相談会を愛知大学車道校舎のコンベンションホールを貸切りにして開催しました。こちらも広いホールに人が来て下さると大変心配の中、午後1時にオープンしました。

幸いにも、街宣活動と新聞の折込チラシの区内全域配布によって広く知れ渡り、多くの区民の方々の参加を得て有用なお話と相談会を実施できました。第二部の相談会は、ロビーに準備した相談テーブルも満席となり、内容の濃い相談会を実施できました。

又、大先輩をはじめ、若い会員の方々にボランティアを快くお手伝いしていただき、また新しいつながりも持てた事が大きな成果であったように感じています。

当委員会のメンバーの皆様と、会員諸氏のご協力に感謝しながら報告を終わります。
 ありがとうございました。



租税教室

溝口雅久・記

租税教育は、小・中・高等学校の児童・生徒はもちろん社会人も含め生涯学習、教育の一つに位置付けられており、学校における租税教育の目的は、租税につきその意義、役割、機能、仕組み、納税などにおける正しい知識を持つという教育の理念に沿った国民の育成を図ることにあります。

このような理念のもと、子供たちに税についてわかりやすく説明をしてあげることは、私たち税理士としての使命の一つであると思います。

名古屋税理士会における租税教室は、平成10年に恵那地区租税教室推進協議会が設立され、中津川支部が平成11年から税理士も参加した租税教室をおこなってきました。平成12年3月当時、私自身本会広報部に所属しておりましたので、副部長であった中津川支部の岡庭隆先生の意向で中津川税務署での租税教室打ち合わせ会に取材を兼ねて出席させていただきました。

当時名古屋市内地区においては、税を知る週間に作文や習字において子供たちの作品はあったものの、税理士による租税教室はまだ行われておらずこの流れはいつか市内地域にも来るのではないかと思っておりました。

日税連は、租税教室の租税教育を社会的貢献活動の一つとして位置づけ、今後積極的に取り組むという重点施策をかけ、日税連広報部が税理士会独自の租税教育用マニュアルを制作しました。

このような流れの中、名古屋税理士会においても租税教育の重要性、税理士の社会的貢献から講師養成講座を開き、単位会においての租税教育の実施、参加を大いに推奨しています。

そして東区内においては、数年前から、税務署、区役所などが主体となり各学校の意向のもとで租税教室を実施してきた経緯があります。

さて、このような沿革のもと、我が東支部においても、当局からの依頼もあり、租税教室への取り組みや参加を積極的に進めていくと、平成18年度から、区内にある小学校や中学校においては、総合学習の一環として、高等学校においては、主に商業科の生徒を中心に授業の一環として租税教室を受け持たせていただくことになりました。

高等学校50分、小学校は45分授業ということで、盛り沢山の課題の中から、子供たちに何をどのように説明したらいいのか、どのような構成で授業を進めたらいいかを話し合い、また限られた授業時間を上手くつかわなければならないことで、黒板に書いていては時間がかかるてしまうこと、



平成20年1月17日 砂田橋小学校
講師・鈴村明己先生



平成20年1月16日 旭丘小学校
講師・林 紀代治先生



平成19年6月22日 桜丘中学校1年生 講師・溝口雅久先生

特に小学生においては、言葉より絵などを見せて説明をする方が効果的なのではないかと考え、自作で絵を描きたくさんフリップも作りました。

そして今回19年度は、この租税教室も支部50周年記念事業の一つに位置付けられ、学校も小学校5校、中学校、高等学校各1校と大幅に数も増えました。

平成19年6・7月市立桜丘中学校において、一年生と三年生の生徒を対象に租税教室を行い、一年生は、税の種類、消費税を対象にした税の流れや、所得税と消費税の違いなどの簡単な説明をし、三年生は、岡本会員が外国旅行などの経験から日本の税の仕組みの良さなどを話し、途中ビデオが写らなくなるハプニングがあったものの上手に授業を進めることができました。

20年1・2月には、私を含め5名の会員で小学校5校と高等学校1校で租税教室を行い、小学校によっては児童数の多少はあるにしても、授業においてはどの学校でも子供たちは元気よく手を上げ、積極的に応えてくれて、とても明るく楽しい授業になりました。

また我々講師にとっても、とてもいい経験になり、今回特に多くのマスコミにも取り上げていただいた事で、改めて税理士としての社会的使命感も再認識させられました。

租税教室は、支部として今後とも継続していく事業であり、若手の会員の皆さんにもぜひ積極的に参加経験していただきたいと思っております。



平成19年7月12日 桜丘中学校3年生
講師・岡本政廣先生



平成20年1月9日 愛知商業高等学校
講師・安藤賢史先生



平成20年1月16日 山吹小学校
講師・溝口雅久先生



平成20年2月1日 萩小学校
講師・竹本隆志先生



平成20年2月5日 愛知教育大学附属小学校
講師・溝口雅久先生

支部創立50周年特別記念 地域活動

・支部主催による東区民祭りへの出展

河村裕明・記

支部主催による東区民祭りへの出展



名古屋税理士会名古屋東支部は、昨年に引き続き「なごやかまつり・ひがし」のおたのしみコーナーに出展しました。

本年度は、支部創立50周年という区切りの年でもあり、この度の区民祭りの参加も50周年記念事業の一環として位置づけられています。また当支部運営方針にもあるように「地域社会に税の知識の普及をはかり、税理士の活動を周知するため」、この区民祭りへの参加は、普段の税理士活動を知りたくうえで絶好の機会であると考えていました。

平成19年10月14日の日曜日に建中寺公園にて開催された区民祭りは、曇り空ではあるものの暑さ寒さを感じさせない絶好の祭日和となりました。

今年も祭りのテーマに「税理士とふれあおう!」を掲げ、税金クイズ&ゲームコーナーと税理士に挑戦コーナーを設けさせていただきました。

クイズ&ゲームコーナーでは、子供向けに簡単な税金クイズを出題し、正解数に応じて的当てゲームに参加していただきました。税金の意味をあまり理解していない小学校の低学年層が多いので、クイズに先立ち、税の概念を説明しました。挑戦コーナーは、区民の皆様と電卓、そろばん、暗算を駆使して簡単な足し算を競い合いました。

これらの催し物を通じて、区民の皆さんや子供たちといろいろなコミュニケーションを図ることができ、私たちも楽しい時間を過ごすことができました。

また、私たちの普段の仕事内容を知りたくため、PR誌として青年部が制作した「税

理士新聞」を配布させていただきました。東支部の歴史、不肖私の息子の税理士レポート、クロスワードパズルなどを盛り込ませていただきました。当支部のホームページでもダウンロードできますので御一読願います。

さらに今回の区民祭りの会場をお借りして、インタビュー形式で税理士に関するアンケートを実施しました。別掲させていただきましたので詳細はそちらを御参照願いますが、特筆すべき点をいくつか挙げておきます。

大半の区民の方は税理士という職業を確定申告期や「税を考える週間」での無料相談を通じて御存知でした。また、そのイメージも税の専門家として安心して相談できたり、信頼できるなど肯定的でした。ただし、少数意見として、固い、真面目すぎて固苦しい、さわやかさがない、気難しいとの御意見もいただきました。華やかなイメージを区民や顧客の皆様に植え付けるのも問題ですが、今後いかに新鮮さやさわやかさをもって接するか考えていかねばならないでしょう。

税理士の広報活動としてどのような活動が効果的か、との質問もしました。大別すると学校での租税教育活動、無料相談の機会の増加、さらに広報誌やマスマディアを通じての広報が挙がりました。その中でも現役の学生から学校での租税教室を行ってほしいとの意見がありました。真摯に対応すべきでしょう。

最後に、冒頭に述べましたように当支部は、おそらく他支部に先駆けて地域への税理士職旨普及活動に努めています。今後もいろいろな形で租税を通して東区民の皆様との接点を高め、納税意識を啓蒙し、もっと気軽に税理士を活用していただくようになればと思います。



平成19年10月14日 東区民祭りにて